

福岡医発第2195号(地)
平成20年 3月 7日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 横倉 義武
(公印省略)

終末期医療に関する意識調査について

わが国におけるふさわしい終末期医療の在り方について検討するため、厚生労働省では、「終末期医療に関する調査等検討会」を設置して、検討を行われていますが、この度、医療機関を経由して医療従事者等の意識調査を実施することになり、その協力依頼が、日本医師会を通じて別紙のとおりありました。

そこで、平成20年3月6日開催の全会第37回全理事で協議の結果、本調査に協力することとなりました。

つきましては、貴会におかれましても会員等からお問合せ等ありましたら、ご協力いただきますようご高配方よろしくお願いいたします。

なお、終末期医療に関する調査は、これまでも平成4年度より5年ごとに実施されており、本年度は4回目となり、調査票は直接、病院、診療所等へ発送されます。

小郡三井医師会より

担当理事 永田正和



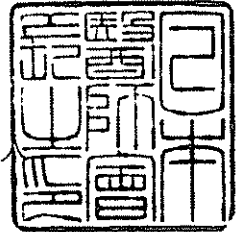


日医発第 1072 号（総企 46）

平成 20 年 2 月 27 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会
会長 唐澤 祥



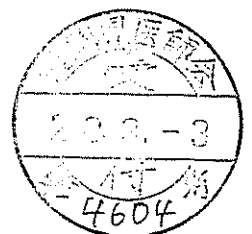
終末期医療に関する意識等調査について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、わが国におけるふさわしい終末期医療の在り方について検討するため、厚生労働省では、「終末期医療に関する調査等検討会」を設置して、検討を行っているところでありますが、この度、医療機関を経由して医療従事者等の意識調査を行うことになりました。

この終末期医療に関する調査は、これまでも平成 4 年度より 5 年ごとに実施されており、本年度は 4 回目となります。また、調査票は直接、病院、診療所等へ発送されるとのことであります。

つきましては、貴会におかれましても本件調査について了知いただきますとともに、本調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

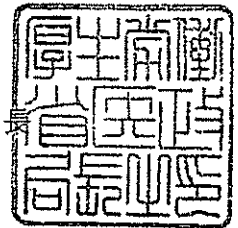




医政発第0218003号
平成20年2月18日

社団法人 日本医師会
会長 唐澤 祥人 殿

厚生労働省医政局長



終末期医療に関する意識等調査について

厚生行政については、平素から格別の御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、適切な医療提供体制の確保につきましては、従来から格別の御協力をいただいているところですが、我が国におけるふさわしい終末期医療の在り方について検討するため、本年度、当局において開催している「終末期医療に関する調査等検討会」におきまして、抽出された医療機関を經由して医療従事者等の意識調査を行うこととなりました。

つきましては、医療従事者等の意識を的確に把握するため、医療機関を經由した調査が円滑に進められるよう、各都道府県医師会の御協力をいただきたく格段の御配慮をお願い申し上げます。

平成 19 年度

終末期医療に関する調査

【調査対象】

○ 前回(平成 14 年度)調査においては、一般国民、医師、看護職員、介護施設職員の計13,794人を対象に意識調査を実施した。高齢化の進展に伴い、介護老人福祉施設で最期を迎える人が増えてきたため、今回、介護老人福祉施設の看護職員を対象に含めた。

○ 調査対象者の内訳は、20歳以上の一般国民5,000人(前回5,000人)、医師3,201人(前回3,147人)、看護職員4,201人(前回3,647人)、介護施設職員2,500人(看護職員を含む)(前回2,000人)とする。

「終末期医療に関する調査」調査人数			
対象者	対象施設	調査人数	前回調査人数
一般国民	—	5,000	5,000
医 師	病院	2,000	2,000
	診療所	1,081	1,034
	緩和ケア	120	113
	計	3,201	3,147
看護職員	病院	2,000	2,000
	診療所	1,081	1,034
	緩和ケア	120	113
	訪問看護ステーション	500	500
	介護老人福祉施設	500	—
	計	4,201	3,647
介護施設職員	介護老人福祉施設	2,000	2,000
総計		14,402	13,794